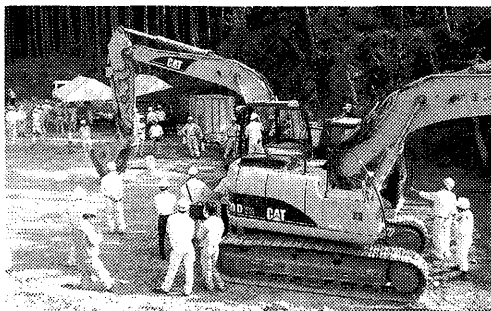


建設通信新聞

建設機械施工
協会四国支部

実機操作を体験 情報化施工で講習会



日本建設機械施工協会四国支部（島弘支部長）は、四国地方整備局中村河川国道事務所が発注した平成25―26年度拳ノ川改良第2工事（高知県黒潮町）の現場で、情報化施工講習会を開いた。写真。同局の職員や建設企業から52人が参加し、実機の操作を体験して情報化施工に関する研究を積んだ。

講習に先立ち、同局施工企画課の木下功課長補佐は、国交省が重要施策に位置付けている情報化施工推進戦略を解説した。施工を担当する福原建設の茨城俊輔監理技術者は「工事概要と情報化施工を採用した経緯を説明し、同協会四国支部の岩澤委式事務局長は情報化施工技術の概要を紹介した。

その後、現場に移動し、2班に分かれてTS（トータルステーション）出来形管理技術の実務や3D-MG（マシンガイダンス）搭載バックホウに搭乗してモニター画面を見ながら操作を体験した。参加者は「ぜひ当社の現場でも採用したい」と話していた。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成26年7月24日（朝）・夕 P 10